

新潟県

公民館月報

昭和57年9月号

発行所 新潟県公民館連合会

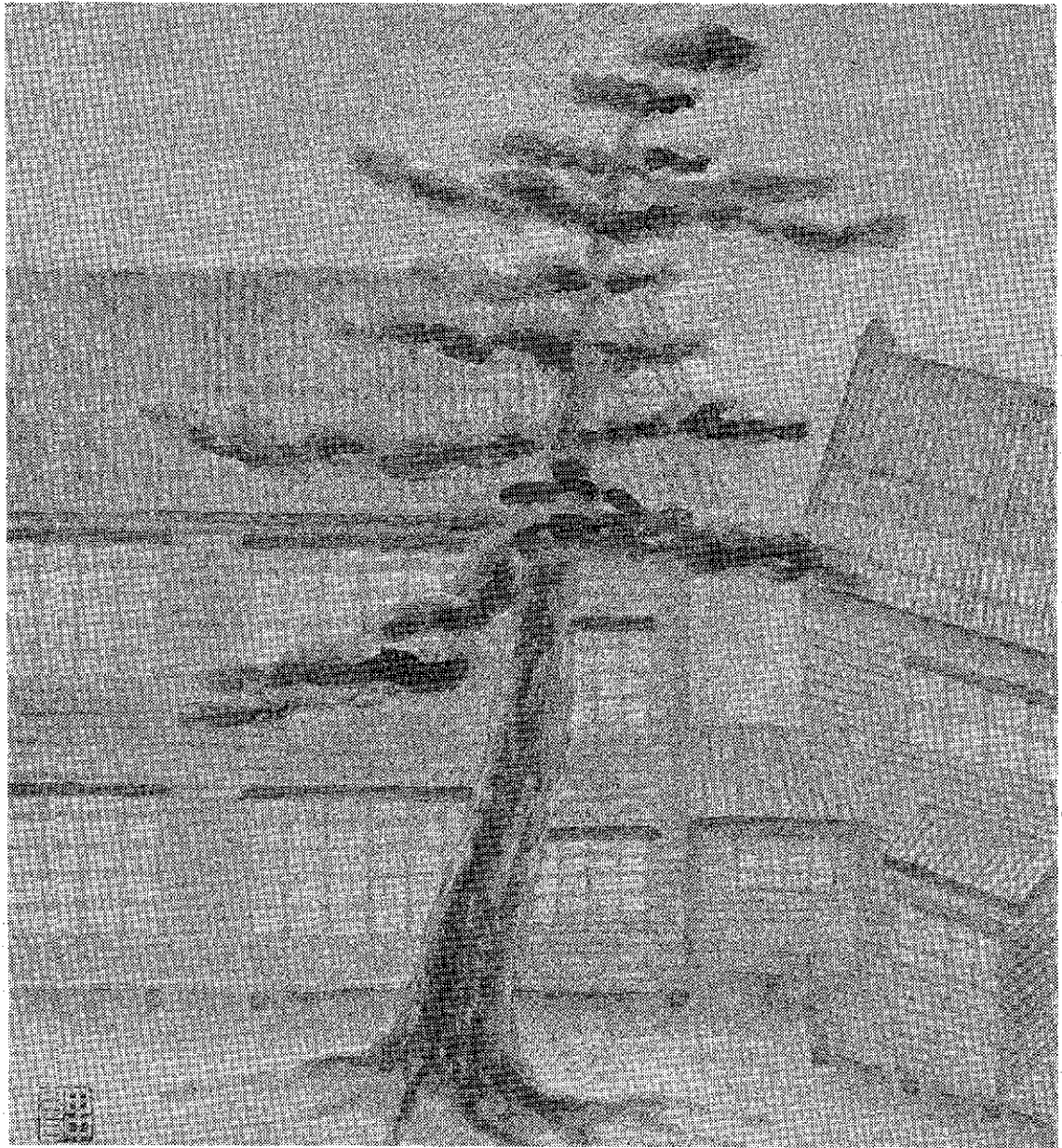
【新潟市川崎町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟4049】

発行人 会長 石井 耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 100円 年共・年価 1,200円】



粟生津小学校の松の木

粟生津小学校は、近くとりこわされる運命にある校舎である。終戦直後、私共はモッコで砂を運び地ならしを手伝いながらも、長く骨ばかりの校舎として、雨ざらしのまま、入らずに卒業した。

校庭の一角に、粟生津小学校百余年の歩みを、眺めてきたであろう松の木がある。

尋常小学校、国民学校、そして現在の小学校と、時の移り変わりを黙って見つめてきたこの松の木に、限りない愛着を覚えるのである。

今後この校舎がとりこわされても、伐り倒されることなく、このままだけでも粟生津の歴史を、眺めていって欲しいと願っている。

絵・文

吉田町公民館

運営審議会委員

田中ルイ

大会公民館第33回 巻町で第33

公民館は地域の社教センター 生涯教育態勢への軌軸となれ



第三十三回県公民館大会が、さる八月二十七日、巻町公民館で総勢六百名を集めて開催された。

「公民館をめぐる関係行政施策改善の具体策について」をテーマとし、まずはじめに、全公連事務局局長谷口正幸氏による「公民館のめざすもの」と題する基調講演を開き、午後は講師六名によるパネルディスカッションとすすみ、即日盛会のうち幕を閉じた。

今回の大会を一貫して流れていた主張は「公民館は地域の社会教育センターとして、生涯教育態勢推進の軌軸となれ。」とするものであった。

よる歓迎のことばをつづいた。

このあと、たまたま「公民館のめざすもの」が三十五年の体験から」と題した全国公民館連合会幹務部長、兼事務局長・谷口正幸氏の基調講演を聞く。内容は「山川橋本町公民館主事になって以来三十五年、その間、同町館長、同県公連事務局局長、全公連事務局をつとめ、幾度も町部局の要職に就任しつづけた」として、そのたびに「一貫して公民館に夢中とまるとを望み、それを全した。またその間、重病をわずらひ、開胸切開の障害をもつにいたったが、一歩もひるまず現場に復帰、館長のほか博物館長を兼務、退職後現職に就いた。

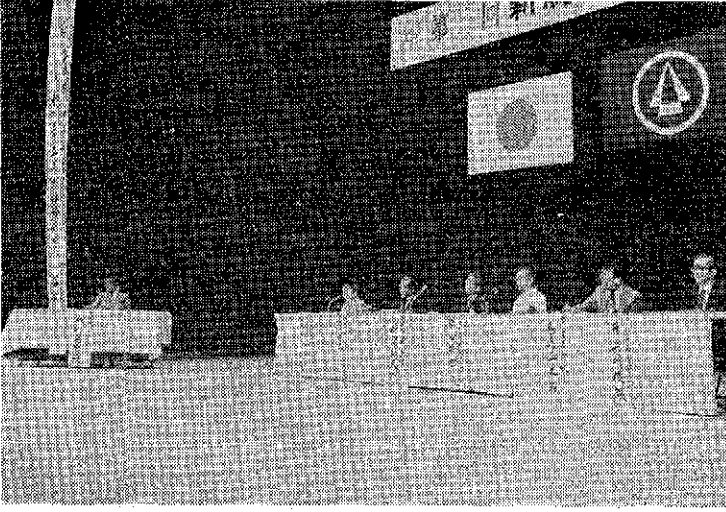
下越公連会長北村晋臣氏の乃つよい大会開演言「公民館の歌」の斉唱によって大会の幕はあけられた。県公連会長石井耕二氏と原教育次長田中邦正氏による主催者あいさつ。つづいて表彰式が行われる。優良公民館として三桑市中央公民館それに公民館運営委、非常勤職員十三名に対し石井会長から表彰状と記念品が贈られた。本田県公連事務局長による来賓紹介と祝電披露、高橋十一郎議長挨拶の祝辞、地元巻町長谷川要二氏に

屋敷後、パネル討論に入る。パネルは、巻町婦人会長藤田ツツ子氏、安塚町公民館長渡辺真一氏、柏崎市中央公民館事務長長岡勉夫氏、新潟青陵短期大学講師甲田敏郎氏、新潟市市長鬼嶋正之氏、県社会教育課長井上明俊氏、六名が登場、それぞれ立場からの問題提起、それに対する参加者からの積極的な質疑、応答や意見交換にすすみ、司会者のT.N.N.アノウサー駒形正明氏が「わがテレビ新瀧も創業車々で手不足をかかっている。しかしそれを克服するのは、

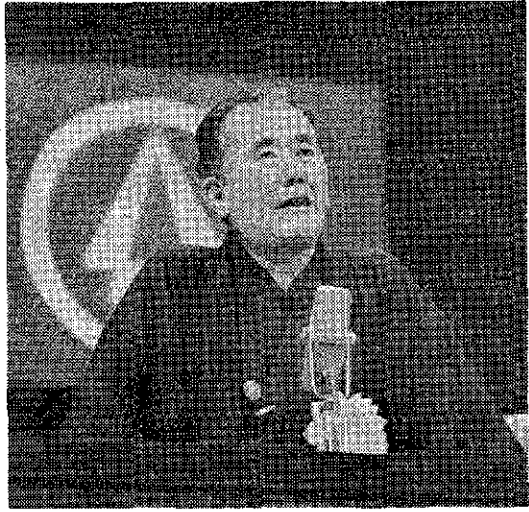
は社員自身の努力しかない。その気持ちでがんばっている。その点、公民館は職員とスタッフも元実し、組織的にも力をこめていけるので、どのようなときにも対応できるのではないかと。目的に向かっってお互いに手をこまねながらはいけませんよ。」と締めくくった。

閉会式は、地元教育長飯塚正雄氏のあいさつ、次期会場代表として下越公連会長山本誠二郎氏のおいさつで幕は閉じた。

(パネル討論詳細は次号)



「公民館のめざすもの」核心をつく谷口講師



大会に参加して

「コミュニティ」再考

井上正人

県大会バネル討議の後半で参加名付けられた施設は一つもありま...

そのために、まず、住民各層から何を学習したいか、何が不満か...

が二つ、各種補助事業で設置したの要求を聞き出すことかと思いま...



す。しかしながら、中間層である四、五〇代の中堅層は公民館対象...

（小田原公民館運営委員）

人間らしい生き方を

学び合う広場・公民館

高年齢の方々を対象として柏崎市公民館が実施している「寿大...

この福田さんは寿大学講座開講記念の受講生で、明春には講...

福田さんは寿大学講座の二コマ学習で今までは学習した俳句と水墨画...

公民館番頭日記

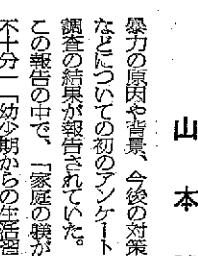
福田さんのお話を聞きながら私は、人間が人間らしく生きるための生き...

福田さんは俳句の時に「私は公民館に来る時が「業業」し。」...



灯台

少年問題を現状と対策と題して昭和五十六年版青少年白書で詳細にわたる紹介されている...



山本誠三郎

学力の原因や背景、今後の対策などについての初のアンケート調査の結果が報告されていた。

この福田さんがこの間、次のような姿をいびきを聞かせてく...

笛吹けど踊らず

山本誠三郎

性や認識し、あの手この手を各の事業を計画し実施している...

（上越市公民館長・本会副会長）

「青少年を非行からまもる」全国読書週間というものがあ...

あり、「三つ子の魂は百まで」と昔から言われているように...

時代が変わっても変わらぬものは親が子どもを育ててい...

まは「笛吹けど踊らず」である。

福田さんは寿大学講座の二コマ学習で今までは学習した俳句と水墨画...

福田さんのお話を聞きながら私は、人間が人間らしく生きるための生き...

10月17日は貯蓄の日

捨てるより活かす工夫が生む貯蓄

第33回新潟県公民館大会五百名の参加者の中から無作意に二十名の方々を選び感想文を依頼したところ、八名の方々から送稿をいただいた。

ここにその一文を紹介する。

有意義だった大会

澤田 敏

残暑まじしい八月二十七日巻町文化会館を会場に第33回新潟県公民館大会が開催された。定期前に会場へ、広い駐車場も県内各地より参加者の車であらう。地元なので顔見知りの方々も多し。会館の大ホールに入り会場をほつとす

記 参加の大会

正面の庄するような段帳、その綴録、書籍家古摺から出土の古電線、大会資料の表紙絵にも採用、くわしく説明されて

開会式石井会長のごあいさつ。公民館活動に立派な実績をお持ちの会長が、多難な時期に皆さんが知恵と力を出そうと強く呼びかけられた。日程は進み、基礎講習、「公民館のめざすもの」を演題

谷口正幸先生が三十五年間の体験をまざまざ熱心に語られた。崇高な理想に向かい身障者となられたもゆるまず実践に努力された先生の人生観に深く感動いたしました。

パネル討議、六人の方が登壇、それぞれの立場から実に教育的の発言、テーマにその真剣に研究されていた。

私は地元意識で安身に出席したが反省し、大会の内容をさらに学習、今後の活動に役立てようと思



公民館も三十三回大会を迎え益々充実したの頃である。今回の県公民館大会に出席させていたたき私の感と志について一、二述べた。

(味方村公民館長)



暗夜に提げると一灯

教育多様化時代の核となれ

丸山タミ

講演に感動

婦人会の代表を始め公民館大会に参加させて頂きました。

テーマが「公民館をめぐる関係性」で、なかなか難しむとちょっと戸惑いがありました。

パネル討議でそれぞれ活躍されている立場での発表とテーマが解りかけてきました。質問が少し淋

公民館は住民の教養、文化、学術等の向上に一生懸命努力しておられる周囲の人達が理解をしなければ最の下の方持たなくなってしまう。公民館の仕事は年々多くなってゆくような気がしています。その中で財政その他いろいろある面で苦勞されていられることが良くわかりました。

私たち婦人会も協力できる範囲で協力をし、より良い地域づくりに努めなければいけないと再確認をいたしました。始めの私には大変

今日の実現

鳳凰至道雄

特に午後からのパネル討議は

内容的にも現在の公民館が抱えている多くの課題を提示したのではないのでしょうか...

紙面の都合上、その内容は省略いたしますが、問題はこれらの今日の課題を如何にして行政側面に反映させるかということです。

もちろん、国・県市町村等、いわゆる行政サイドからの指導計画は必要ですが、直接現場にかかわりを持つ大会参加者の声も大切なのではないのでしょうか。

あながち車における面輪のごとくです。四輪相まって始めて地域と

奮闘した公民館活動が展開されるのではないのでしょうか...

そこで提言を一つ

今年度予算編成の前、それぞれ文書をもって直接最前行政責任者に要請するなどして如何なものでしょうか。

終りに、今大会もいろいろ考えさせられた有意義な一日であったことに感謝いたしております。

(岩室村社会教育委員)

公民館を 中心にして

星野英資



べてみたい。今回は講師の選定やパネル討議の発言者の顔触れからして大変中味のある充実した大会であったと思う。「公民館のめざすもの」という内容の講演、谷口先生の歩んでこられた社会教育の念と活動の実績は、われわれが苦慮している同じ体験内容であったり、これらもぶつかってきそう

な種々な問題点や今後のあるべき姿についての一つの示唆を与えてくれたことに感謝した。

パネルの貴重な話し合いの中からは感じた点は、公民館の今後のあ

るべき姿が短期間の政治に左右されたり地方行政のバラバラ構でなく社会教育のしっかりとした一つの基盤に立って、日本の教育のあり方を見つめ厚く大切な時期でもある。今まには学校教育オンリーでもう社会教育重視の感がある。後公民館を中心に各種社会教育行政の方針を明確にし、住民全員参加の教育の場としての組織作り行政体系作りにも各々の立場で努力していただきたい。

(加茂市公民館運営審議委員)

- 総 集 版
- 余公連では5年前に発行した「公民館のあるべき姿」と今日の指標」の復刻再刊の要望に答えて、新しく第二次の成案を本誌、「総集版」を発行了した。
- A5版・布クロイ仕上げ
- 三五〇ページ
- 内容
- 第一次成案
 - 第二次成案(新しく合本)
 - 別冊)
 - 頒価 二、五〇〇円(送料別)
 - 申し込み先
 - 新潟県公民館連合会
 - TEL:025-251111
 - 二四一六〇七三

第33回県公民館

柏崎方式に学ぶ

この大会に図らずも表彰の栄誉を受け、しかも十三人の何人表彰者の代表として、温情溢れる石井会長殿より直接表彰状を戴きました。



小 熊 態 一

過去十六年間の書記の拙ない歩みを反省し、将来に向かって一層の努力を書くとともに有難さに心秘かに感涙に咽びました。深く御礼申し上げます。

ユニティセンターが狭川地区に創設されます。次期センターは、わが津地区に誘致すべく努力を続けています。私は、これからの公民館活動は、地区内の機関と各種団体との連携を密にし、クラブ活動やサークル活動を助成し、文化体育両面の向上発展を計り、進んで「悩みの相談」等地域に密着した幅広い活動にとり組んでら

理的ではないかと見ています。なほ、他のパネラーの先生方のご意見も直接運営に寄与者として参考になり、実に励みと理想に近い公民館職員の獲得配る研修会であり有難く御礼申し上げます。いつかは親しくお話を伺う機会を持ちたいものと念願し

参加者全員で、公民館の歌を合唱して開会した本大会。ピーンと緊張感の漂う会場。その緊張をほぐすための配席非常によかったと思ひます。

条件整備を積極的に

高木 正



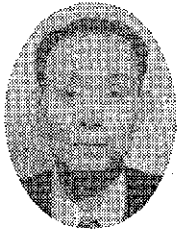
西淵切断の闘病生活から、生命の尊厳を身をもって知る公民館活動に一生を捧げようと、一歩もひるまず現地に復帰され、複雑で前途険しい公民館内外の情勢に

ことばをきかせんじられ、極めて平凡な主婦の生活しか知らない私は解らないことだらけだった。運命も、いろいろな会議に出席せよと、たお陰で、おぼろげに輪郭が見えてきたこの頃、現状と理想像の距離は確かに感じられますが、公民館としての責任も感じられます。公民館が社会教育の海を照らす灯台としたら、私はその光を支える一本の釘にもなれるならばと、そんな思いでこの文を終わりたいと思ひます。

近生涯教育、青少年の健全育成等社会教育に課せられた分野と期待はますます拡大されてきています。しかし目的達成のために関係者は必ずしも思われていない。不備な施設、少ない予算等の中でそれこそ全知恵をしぼり全力をあげて取り組んでいる。

関係制度の見直しを

田村 彦



最後に公民館活動がますます地域の発展に寄与できるよう社会教育法の改正強化と関係制度の見直しを強く要望したい。

計画の策定について研究、討議が続けられています。それに比して、中心部では本館で開設されている多くの講座教室に多数の受講生が集まり、熱心に学習されているもの、それが人々のつながりや、地域づくりに結びつきます。個々の資質のなかにのみ沈滞されている感がないめません。

公運審の声

新緑の若生えとともに公民館活動も新年度の計画に従って活発に活動を始めました。



光を支える一本の釘

樋口 令子

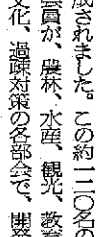
これまで、その中でまず私を悩ませましたのは、公運審として一体私は何をしていたのだらうかという自分の立場を考え、反省を含めての疑問のよなものが気持ちを支配しました。そこで朝日奈津先生の「公運審手帳」を読んでみました。

私は、言葉、委員の場合、団体の長としての任期が限られていて、その時間内に所属団体の活動だけでも大変な上に、公運審としての基礎的な考え方を身につけるには余裕がなさ過ぎると思ひます。もちろん自身のためにも研修は欠かす

津市のなかでも、道隣、諸施設を含めた環境の未整備と、過疎起ころ、集落のありかたを存りみることに悩んでいる地域に、この春、二つの地区分館連絡協議会が中心となって、前浜地区開発研究会が結成されました。この約二〇〇名の会員が、農林、水産、観光、教育文化、過疎対策の各部会で、連携

むだのない暮しでむりのない貯蓄

新潟県貯蓄推進委員会



松木 茂雄

大会の片隅で考える

機械化、情報化社会のなかに夫

(新潟市公民館編者)

新生公民館繁盛記

(22)

公民館は花ざかり、これまでにすでに二十九館の公民館が登場。好評をいただいています。これからもう少し紹介します。

昭和四十九年度以来、施設国庫補助を得て建設された本県の公民館は、昭和五十七年度現在で六十三館になります。この数字は他県にくらべ決して多いとはいわれない実状です。各市町村の一層の努力が期待されます。

施設建設後の成果歴然

「ひろば」に集う住民のよろこび

建設前の公民館
柏崎市中通公民館は、かつては小学校の形だけのものがおかれ、校長が館を兼ねていた。職員もおらずPTAの活動をそのまま公民館活動としていた時代がかなり長く続いたようだった。

その後、中学校生徒の冬季滞宿の附属建物に看板を掲げ、さきも独立した公民館であるかのようなイメージを利用させてもらっていた。

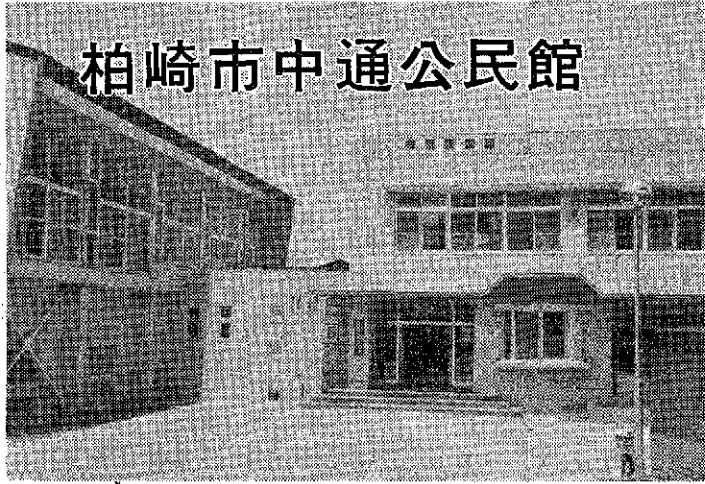
当地地域のありまし
当地域は、柏崎市の東北部に位置し、長岡市・羽村に隣接、十部藩、五四〇世帯、二二五〇人の人口を擁する農・勤労平のおだやかな地域で東は山に囲まれ、西は平野に面する農村地帯である。

完備した施設が誕生
こうした地域の住民から公民館の早期建設について強い要望が出され、それにより、建設の促進を図るべく建設実行委員会を設置し、活発な運動が続けられた。ようやくの妥否を結ぶ五十六年七月着工、本年三月竣工、四月一日の開館運びとなった。四月十一日の地域住民あつての竣工式が挙行され、公民館は近代のセンスの備わった建物で、活動の用に供せられる備品類もよく整えられている。

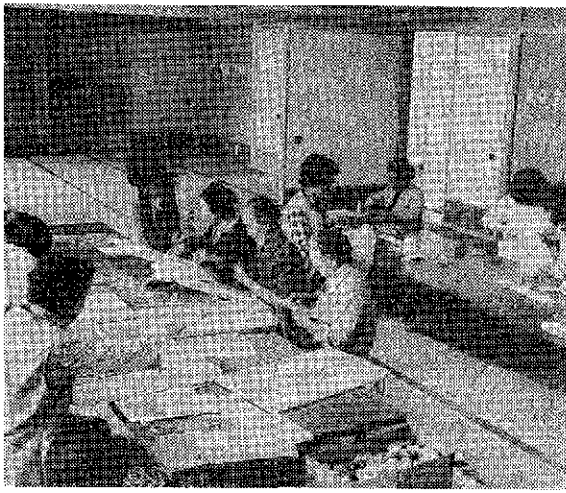
利用者ふえる
開館以来の公民館の利用状況をみると
四月 一八団体 六六三八
五月 四四団体 一、〇九一人
六月 八〇団体 二六、一七〇人
予想を大きく上回った利用盛況と喜びが交錯し、いかに施設の整備が重要であるかを如実に物語るものと感銘を深めている。

この新しい公民館が地域住民の「ひろば」として大いに利用されるよう私たち公民館人は、住民の立場になって、気分よく気軽に利用できるような雰囲気を整えることに努力し、この施設を大事に守らなければならないと思っている。

柏崎市中通公民館長 倉部清義

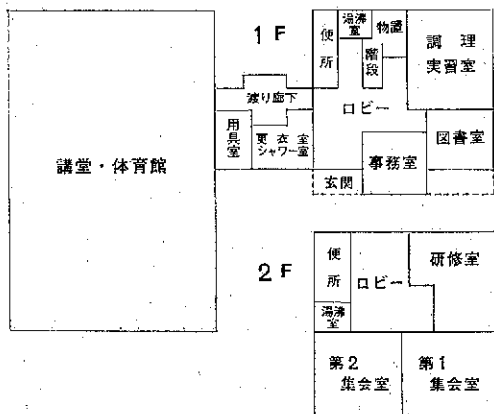


柏崎市中通公民館



敷地面積	1,792㎡	床面積	762.10㎡
集会棟	鉄筋コンクリート造2階建	402.10㎡	
講堂棟	鉄骨造平家建	360.00㎡	
総工費	134,696千円		
竣工	昭和57年3月27日		
開館	昭和57年4月1日		

〔平面図〕



あの頃のこと

文化協会より 公民館へ(1) 間野良知

筆者紹介

小中学校教員、校長を歴任後、昭和五十六年まで小須戸町公民館長。

戦後、草創時代の公民館活動のありのままの姿を知る数少ない人のなかのひとり。とくに県公連の結成当初の書記、幹事として重要な役割を果たしたことで知られる。



職を本務としながら、地域の文化活動に深く関与し、公民館づくりの先駆者となっていた。小須戸町 寺任職 (編集)

戦後の小須戸町社会教育の歩みを語る時、どうしても公民館の前身である文化協会を取り上げなければならない。

昭和二十二年、敗戦による民心の不安と極端な物資の欠乏で社会生活に大混乱を来した時代である。
郷土の実状を憂う町内の有志数人の発起により結成されたのが小須戸町文化協会であった。(昭和二十二年十一月二十日)これが翌年町長の共感を呼び、一年足らずで会員五百余人の大団体に成長したのである。しかも町長、学校教員以下全町各層の有力者、一般若年男女を網羅したところが大

きな特徴が見られた。その性格は全町民及び各種団体(官公衛等の職制、教養、連絡を目標とした「町づくり運動」)と類似した文化祭、町民かくし芸大会、町民運動会(いずれも県下の草分け)が差出したもの期である。勿論各種講演会、討論会、座談会、映画会、スポーツ大会、又は各種の差のための巡回演説会等も活発に行われた。
オリ版印刷ながらも月刊機関紙「小須戸文化」を発行、全町に配布して情報の提供と意見、希求等

る。教職を本務としながら、地域の文化活動に深く関与し、公民館づくりの先駆者となっていた。小須戸町 寺任職 (編集)

求めて町民大会を開いたことなど忘れがたい思い出である。その他農村部への水道延長、小須戸矢代田開墾道の待付設置、商店街の美化、生活改善面では旧正月の廃止(冠婚葬祭の簡素化等)がある。ここに規約の一部を紹介する小須戸町文化協会規約

第一条 本会は小須戸町文化協会と称する。
第二条 本会の目的
1、平和、民主、文化の三天目
2、全町内各種官衛、団体の連絡
3、会員相互の研究修養
第三条 本会の本部は小須戸町役場の新制中学校校舎新築への急進と場内に置き必要に応じて支部を設けたのである。全町議の列席をけることを得る。

第四条 本会は自由なる意志のもとに本会を組織して積極的な事業に協力する小須戸町民で組織する。
第五条 本会の事業
1、会員相互の文化研究に関する事項
2、会員相互の親睦に関する事項
3、各種教養講座の開設に関する事項
4、各種文化施設の設置促進に関する事項
5、その他全町文化振興に関する事項
第六条 本会の役員 (略)
第七条 本会の会合 (略)
第八条 本会の経費 (略)
第九条 規約の変更 (略)
第十条 本会の会簿 (略)

昭和二十三年度の役員名簿を見ると、各種各層から選ばれた人員一五九名という多数の構成になっている。
会長 田中四郎(会社社長)
副会長 佐山武雄(校長、故人)
長谷川鉄太郎(前町長、故人)
顧問 現、旧町長四名
常任委員 三十四名
委員 四十七名
常任幹事 一三名
幹事 五八名
右の中表は運営の中心になったのは常任幹事で、情熱と活動力に満ちた若手の同僚的な結合により、諸企画の原案作製と事務処理を担当したのであるが、私が代表者(常任幹事長)といふことには

なっており、しかし今振り返って見るといろいろの悩みも苦しみも多かったものである。たとえば経費の面で、町の助成金(三千円)会員の年会費(六〇円)他と多少の事業収入ではとてもまかないきれず、赤字を出してはいるが、それが多すぎた。又、物資不足で、特に最も必要な用紙類の入手が困難で、いろいろの手をつくっては業者の裏口から分けてもらおうという状態だった。
深夜一時二時頃まで議論を重ねた。このまま廃止することもさうであった。
そうした中から町は目を覚まして活気を加え実行したのである。

詩

遙かなりキリマンジャロ

浅間 勝 衛

きみはキリマンジャロに咲くといふ幻の白い花を見たことはないか
星々が地上におりたつときに脱ぐという沙漠のウェディングドレスを見たことはないか

きみはキリマンジャロをめざしてのぼるという獣たちの孤独なうめきを見たことはないか
あゆみつつけることの虚しさを知りつつなお死にいたるまであゆみつつけるものはるけさを

あの神話のようなかそけさを
きみはキリマンジャロをめざしてすすむという駱駝の鈴の音をきいたことはないか
あの荒廃した大地をゆくけものたのみの
かぎりないやさしさと
かぎりない沈黙と

(元糸魚川市公民館長・埼玉県越谷市在住)

あとがき

近ごろ、しきりに「公民館よ原形にかえろ。」という声があります。これは住民主権型のお仕着せでない活動内容を期待する層の声というよりは、むしろ公民館職員自身のなかの一種の焦燥感として語られる場合が多いように思われます。
その焦燥感の因子は何か。を深く追求してみる必要もありそうです。
(本)